

# 令和6年度 第2回社会教育委員会議 概要

開催日時	令和6年11月26日(火)午後7時30分～
開催場所	市役所4階会議室
出席した委員	13名参加
出席した職員	社会教育課長・社会教育課課長補佐・社会教育課指導主事
資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・第2回社会教育委員会議次第</li><li>・近畿地区社会教育研究大会「京都大会」</li><li>・社会教育講演会について</li><li>・中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会開催要項</li><li>・令和7年柏原市成人の日行事実施要項(案)</li><li>・社教連会報</li><li>・防災体験合宿活動報告書</li></ul>

## 【会議の要旨について】

### 1. 開 会

### 2. 議長あいさつ

### 3. 会議案件

#### 議 事

#### (1) 近畿地区社会教育研究大会「京都大会」(報告)

- ・事務局より資料1に沿って大会概要を報告。来年度は和歌山で開催予定。

(大会参加委員より順に報告)

- ・全体会は、山鉾を196年ぶりに地域で復活させる熱い話だった。たった1人からはじまり、10年近くをにかけて復活させたそう。第4分科会「学校・家庭・地域の協働」では、学校を中心にした地域学校協働活動の話だった。ここでも1人の校長が地域の商店街に相談に行ったことがスタートとなっている。「こういうことをやりたい」という思いがともにきっかけになっていた。

- ・どんな地域にも伝統行事があると思うが、それを維持し継承していくには相当なエネルギーがいる。しかし、それがあから地域の人が声をかけあい集まってきて皆で活動できるのだろうなと全体会の話聞いて感じた。第4分科会「学校・家庭・地域の協働」では、「学校は地域の人々の公民館だ」ということを言っておられた。もちろん学校は、日中は教育の場「学校」としての機能をもっているが、放課後や休みの日は公民館として使用できる「学校3部制」を提唱しておられた。「学校は地域の財産で地域の皆さんと共有する」という考えは大切だと感じた。
- ・全体会では「人が人を呼び、熱意が熱意を呼ぶ」ということをおっしゃっていた。それらの思いは、我々が日々地域でやっている活動と重なっていると感じた。自分の地域でもだんじりを継承するのは大変だが、人のつながりや広がり大切にしながら、未来の子どもの笑顔を思っがんばっている。第1分科会「地域づくり」では、公民館を地域の中心に据え、生涯学習の視点で様々な講座を開き、そこに子どもたちの居場所もつくり、様々な体験学習してもらっているそう。また、小学生の通学合宿や中学生の中学生議会を開催している。中学生議会で提案された案は、町の政策に反映・活用されているそうで、中学生が地域を主体的に考える行事になっており、感動した。
- ・全体会では、山鉾の意味や歴史なども含め、丁寧に教えていただいた。第3分科会「ボランティア」では、日本語教室をボランティアでされている先生の話だったが、分科会参加者との間で「有償ボランティアはボランティアなのか?」「ボランティアの在り方とは?」という話を中心になった。これからのボランティアについて考える機会になった。
- ・全体会では、思いが繋がっていく過程が印象的だった。第5分科会「人権教育」では、放課後の子どもの居場所づくりについてだったが、「子どもとの適度な距離感」について話し合われた。大人は「見守り」のつもりが、子どもは「見張られている」と感じていたり、つい手や口を出し過ぎてしまったり。子どもの体験現場での指導者の悩みを共有できた。

## (2) 社会教育講演会について

(議長より提案)

- ・第1回会議で「R6社会教育講演会は行わない」ことを決めたが、代わりに京都大会での学びなどをもとに「社会教育委員の研修会」を検討したらどうかということになっていた。
- ・京都大会参加の5名で話し合い、その場で紹介された「社会教育委員のQ&A」という書籍を参考に、議長が大切なところをまとめて講義を行うかたちで研修会を実施したいと考えている。内容としては「社会教育委員とは」「柏原市の社会教育」を考えている。
- ・令和7年度の講演会については、リビエールホールが使用できないため、市役所大会議室の使用が現実的である。京都大会では「最初は小さいつながりからスタート

し、徐々につながりを広げていくことが大切」だと学んだ。この講演会も最初から数百人を動員するようなものをめざすのではなく、まずはつながりをつくり、深めるような機会にできればと思っている。講演会にするのか、シンポジウムにするのか、フォーラムにするのか、そのあたりも含め、考えていきたい。

- ・今日はまず、「令和6年度は議長による研修会を実施することで良いか」についてご意見いただきたい。

(委員より)

- ・賛成。これまでは講演会をしていて、コロナ禍で社会教育委員向けの研修会を、講師を呼んで実施したこともあるが、今回提案をいただいたかたちは初になる。社会教育委員について何となくはわかっているが、きちんと学び直す機会になると思う。議長によりしくお願いしたい。

(今回の議論のまとめとして)

- ・令和6年度は、社会教育講演会に代えて、次回(第3回)の社会教育委員会議の中で、1時間程度時間を取り、「社会教育委員向けの研修会」を実施する。テーマは「柏原市の社会教育 2024」。
- ・2月に別で研修会を開催するのではなく、第3回社会教育委員会議の中で行う。

### (3) 中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会

- ・事務局より資料3に沿って開催要項を説明。
- ・当日参加される委員は、市役所時間外受付前に13:00集合。(資料あり)
- ・参加委員を確認。→委員7名参加希望

### (4) 令和7年柏原市成人式～はたちの集い～

- ・事務局より資料4に沿って実施要項を説明。
- ・議長、副議長は本日案内状・駐車券をお渡し。出席をお願いします。
- ・他に出席いただける委員は、今週中に事務局まで連絡を。  
→現在のところ：委員2名が参加希望

(委員より)

- ・更生保護女性会で、お茶席をもつ。200人分のお菓子を用意する予定。

## 報告事項

### (1) リビエールホール大規模改修工事に伴う休館について

- ・事務局より資料5に沿って、リビエールホールの休館について説明。

(委員より)

- ・令和8年1月の成人式の開催場所はどうなるのか。  
→現時点では、柏原中学校体育館を候補地として計画している。

## (2) その他 各委員からの報告等

- ・「図書館協議会」では、中学・高校生の図書館利用が少ないとの報告があった。ただ、委員長からは、全国的に見ても市の規模にしては来館者が多いとのご意見もいただいた。市民文化会館の長寿命化改修工事についての説明もあった。令和8年1月から、令和9年3月頃までと聞いている。
- ・「健全育成協議会」では、堅下南校区で防災体験合宿を実施。小学生20名が参加。異学年が集まる中で、高学年が引っ張ってくれた。大人が関わりすぎず、子どもが自分たちで考えて動くように心がけた。北陸の地震後、避難所に協力に行った職員からの報告があり、実際の様子がよくわかり良かった。また、学校に備蓄されている災害時の物品を把握することができたのも、地域にはありがたかった。夜の学校探検を地域で計画したが、暗い中でも子どもが助け合う姿が見られた。合宿を終えて、子供だけでなく、地域のスタッフや保護者のみなさんも喜んでいて、来年度は堅下小学校で実施予定。
- ・「公民館審議委員会」では、文化センターで開催されている講座や参加者数等の説明があった。また、文化センターの耐震工事についても説明があった。工事期間の講座の場所等を検討している(内容によって、和室や調理室が必要になる)。10月の市民文化祭にも出席。
- ・「放課後子ども教室運営委員会」で感じるのは、年々充実してきていることである。回数が増えるだけでなく、内容が豊かになり、開催場所も地域の会館等でも開催されている。地域の担い手も広がってきているのを感じている。
- ・「体育協会」では、スポーツフェスティバルが大雨で中止となったが、概ね順調に行事等を実施できている。スキースノーブーツアーを1月25, 26日に予定している。柏原シティキャンパスマラソンは3月9日(日)に開催予定。
- ・「健全育成協議会」も、年々充実しているのを感じる。各健全育成会の会長が集まる会議が年に3回ほど開催されているが、毎回ほぼ全員出席して下さっている。会長をはじめとした熱量が伝わり、広がっているのを感じる。
- ・「PTA協議会」では、バレーボール大会やソフトボール大会を実施。後は広報誌の発行を残すのみとなっている。昨年度、協議会として市に要望を出した「通学路の危険箇所」について、改善が進んでいないように感じる。一部修繕等がなされているようだが、1番のお願いである電柱に撒かれている飛び出し注意の張り紙の改善がなされていないのが残念である。

#### 4. 閉 会

副議長あいさつ

よりよく生きることを意味する「ウェルビーイング」という言葉が広く教育や地域で使われ出した。京都大会でも「ウェルビーイング」がテーマになっていたようだが、「自分のためのウェルビーイング」だけでなく「誰かのウェルビーイングのためのお手伝いをする」という視点に立つと、この言葉は社会教育委員にぴったりの言葉だと改めて感じた。今後も社会教育を盛り上げていきましょう。